



RHYTHM

2025年3月期決算・ 中期経営計画2027説明会

リズム株式会社
(東証プライム 7769)

1. 2024年度決算・中期経営計画2024振り返り

- 前期比增收増益
- 業績予想未達
- 「収益性」と「事業環境変化への対応」に大きな課題残す

(百万円)	2024年度	前期比	予想比	中期計画比
売上高	32,666	63	-333	-2,833
営業利益	817	87	-382	-1,182
当期利益	758	281	-241	-841

2. 中期経営計画2027

- 課題克服と成長へ向けた次のフェーズへ、中期経営計画2027をスタート

本資料における注意点

- 特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

2024年度決算・中期経営計画2024振り返り

収益性に課題。事業環境変化への対応力を要す

計画と実績見通

	2024年度 計画	2024年度 実績
売上高	355 億円	326 億円
営業利益	20 億円	8 億円
当期純利益	16 億円	7 億円
営業利益率	5.6 %	2.5 %
ROE	5.6 %	2.4 %
海外売上高 比率	48 %	43 %
車載関連 売上高	120 億円	127 億円

主な取組成果と課題

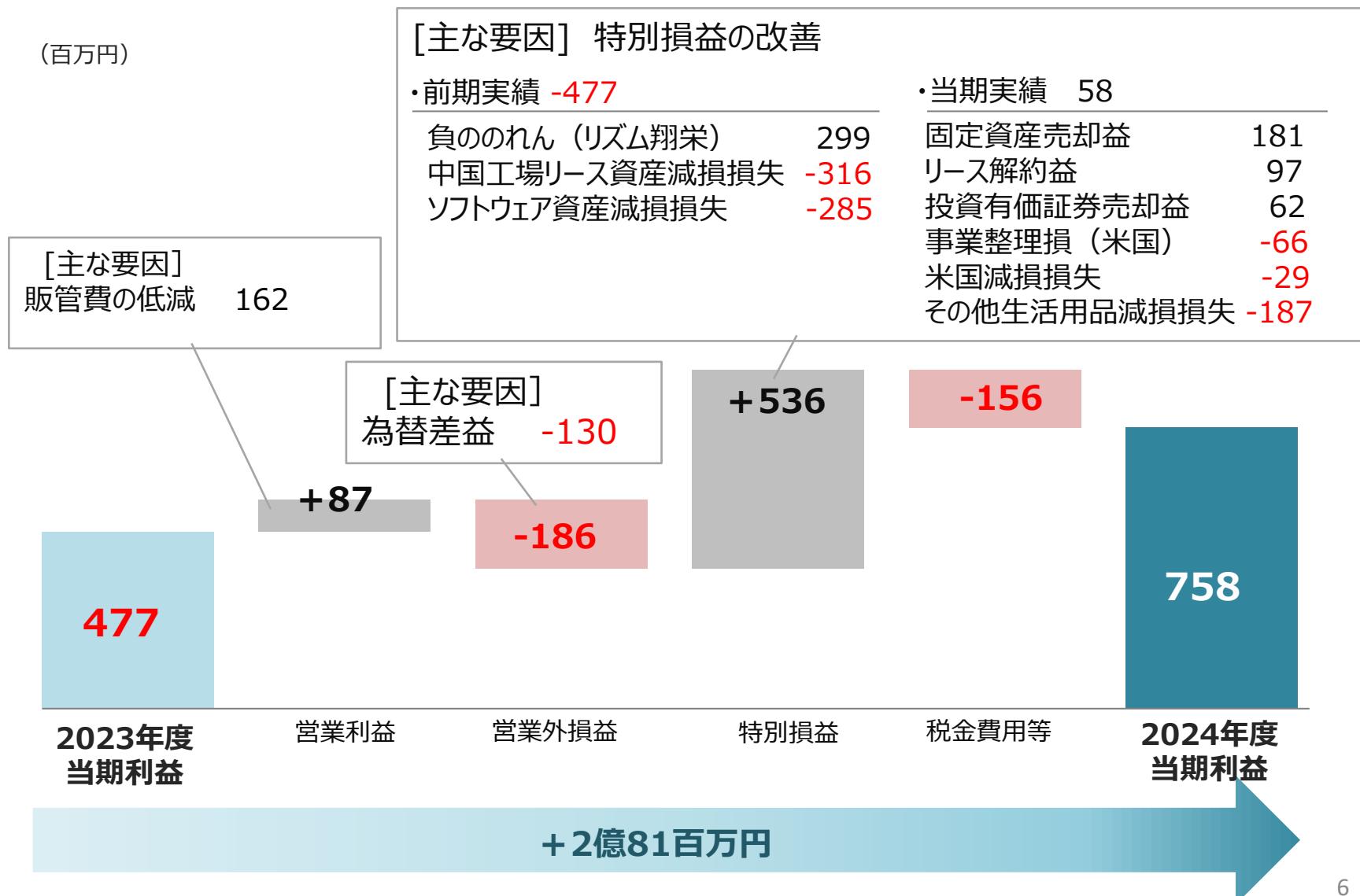
事業	M&Aによる拡大と構造改革の断行	
	精密部品	リズム翔栄加入の一方、既存の車載・組立分野は顧客在庫調整等が影響
財務	生活用品	中国工場で確かな改革成果。快適品（※1）ヒットも収益確保（円安耐性）に課題
	資本コスト経営の推進、株主還元強化	
ビサリステイナ	計画を上回る積極投資、政策株・不動産の一部売却、増配を実施。収益改善によるROE向上が急務	
	環境、D&I活動をグループ一体で推進	
経営基盤	計画を上回るペースでCO2排出量削減。ネットゼロに向けた対策検討。女性活躍の更なる強化へ	
	事業を支える基盤の強化	
ガバナンス、人財、IT、SR（※2）等幅広く活動実施。基幹システム入替は計画を見直しリストート		

※1 モバイルファン、サーキュレーター、加湿器等の小型家電・雑貨類カテゴリ

※2 Stakeholder Relations：ステークホルダーとの関係

損益計算書							
(百万円)	中期計画 2024年度	2023年度	2024年度 業績予想	2024年度	中期計画比	前期比	予想比
売上高	35,500	32,602	33,000	32,666	-2,833	63	-333
国内売上高	—	17,181	—	18,553	—	1,371	—
海外売上高	—	15,421	—	14,112	—	-1,308	—
営業利益	2,000	730	1,200	817	-1,182	87	-382
営業利益率	5.6%	2.2%	3.6%	2.5%	-3.1%	0.3%	-1.1%
経常利益	2,250	1,259	1,600	1,160	-1,089	-98	-439
経常利益率	6.3%	3.9%	4.8%	3.6%	-2.8%	-0.3%	-1.3%
当期利益	1,600	477	1,000	758	-841	281	-241
当期利益率	4.5%	1.5%	3.0%	2.3%	-2.2%	0.9%	-0.7%
1株当たり 当期利益 (円)	190.81	57.86	121.14	91.93	-98.88	34.07	-29.21
期末日為替レート (US\$=¥)	120.00	151.41	145.00	149.52	29.52	-1.89	4.52
期中平均為替レート	120.00	143.31	145.00	152.59	32.59	9.28	7.59

当期利益（前期比較）



貸借対照表

(百万円)

	2024年3月末	2025年3月末	2024年3月末比	主な増減要因
流動資産	27,076	28,363	1,286	現金及び預金 2,176
固定資産	16,496	16,729	232	建設仮勘定 308
資産合計	43,573	45,093	1,519	
流動負債	6,924	6,351	-572	支払手形および買掛金 -403
固定負債	5,503	7,432	1,929	社債 1,500
負債合計	12,427	13,784	1,356	
純資産	31,145	31,308	162	
負債・純資産合計	43,573	45,093	1,519	
自己資本比率	71.5%	69.4%	-2.0%	

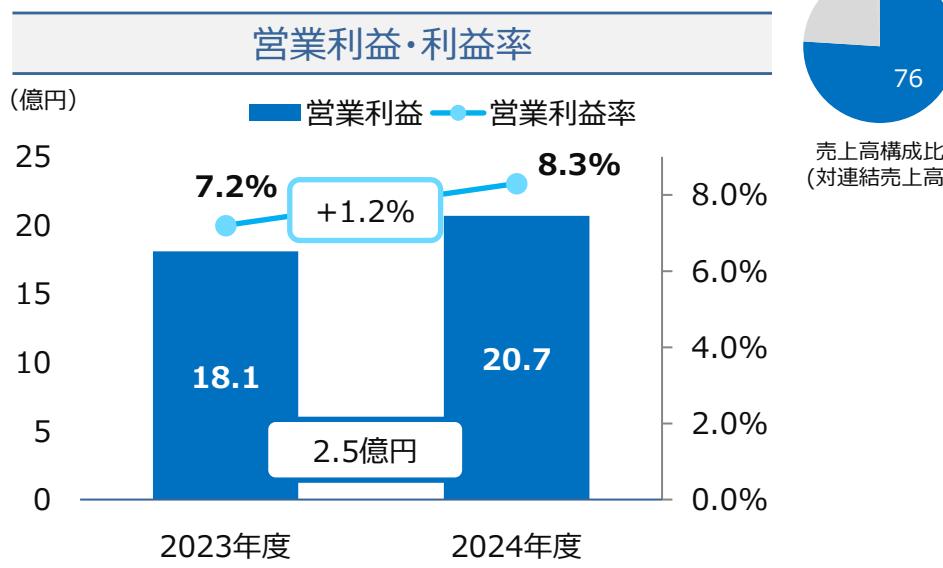
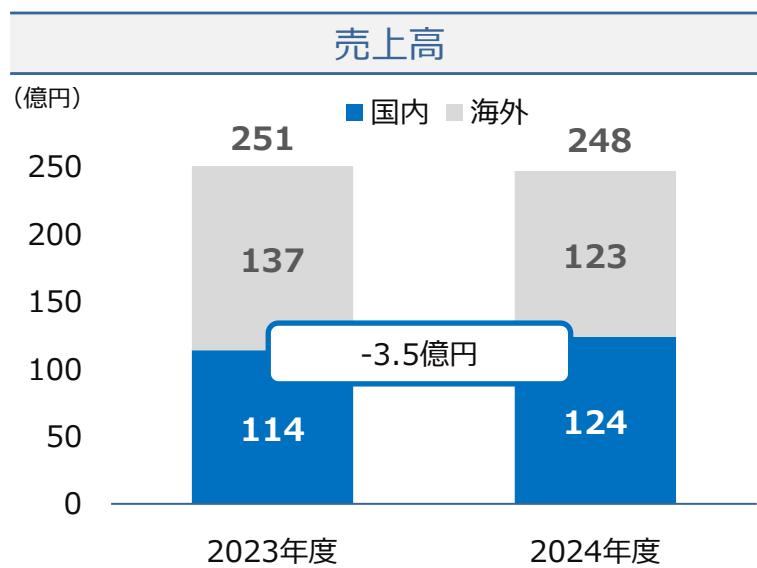
キャッシュ・フロー計算書

	(百万円)	2023年度	2024年度	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,459	2,441	-17
投資活動によるキャッシュ・フロー		-2,143	-1,458	684
フリーキャッシュ・フロー		315	982	667
財務活動によるキャッシュ・フロー		150	1,323	1,173
現金及び現金同等物に係る換算差額		677	-130	-807
現金及び同等物の期末残高		11,043	13,219	2,176

営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,219	有形固定資産の取得による支出	-1,242	長期借入れによる収入	2,000
売上債権の増減額	764			社債の発行による収入	1,500
棚卸資産の増減額	521			長期借入金の返済による支出	-1,414
法人税等の支払額	-435			配当金の支払額	-400
仕入債務の増減額	-415			ファイナンス・リース債務の返済による支出	-356

損益計算書（セグメント別）

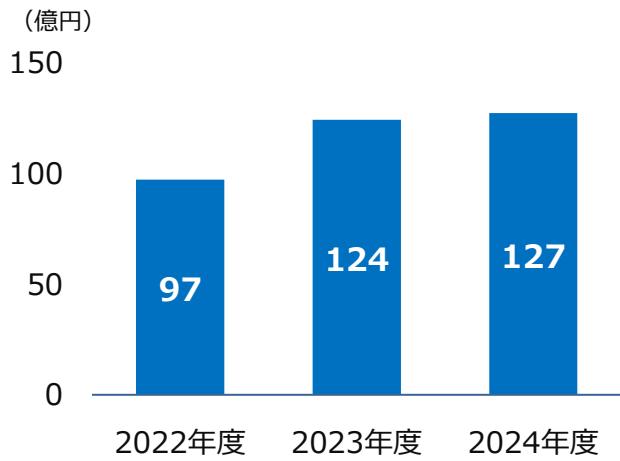
(百万円)	2023年度	2024年度 業績予想	2024年度	前期比	予想比
売上高	32,602	33,000	32,666	63	-333
精密部品	25,173	25,100	24,813	-359	-286
生活用品	7,027	7,500	7,447	419	-52
その他	401	400	405	4	5
営業利益	730	1,200	817	87	-382
精密部品	1,812	2,100	2,071	259	-28
生活用品	-655	-400	-764	-108	-364
その他	68	50	60	-7	10
調整額	-495	-550	-550	-55	0

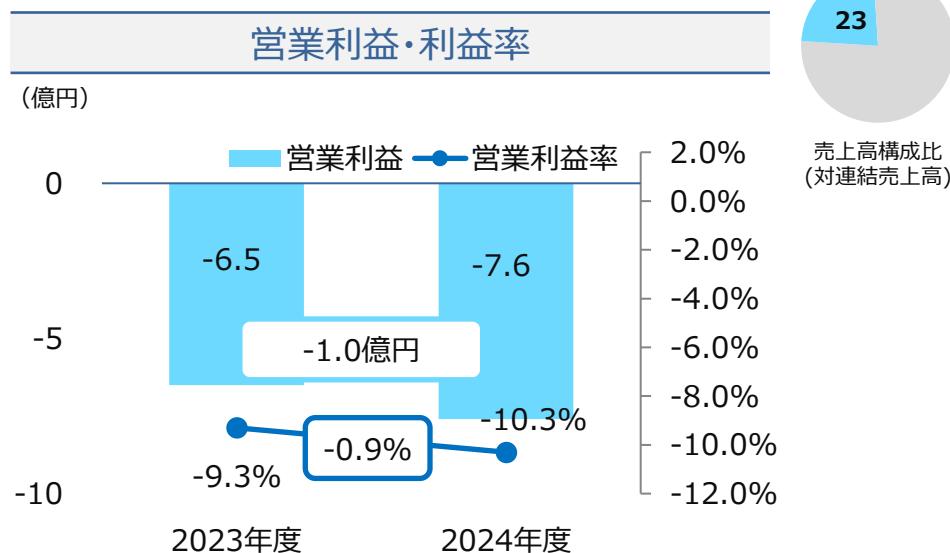
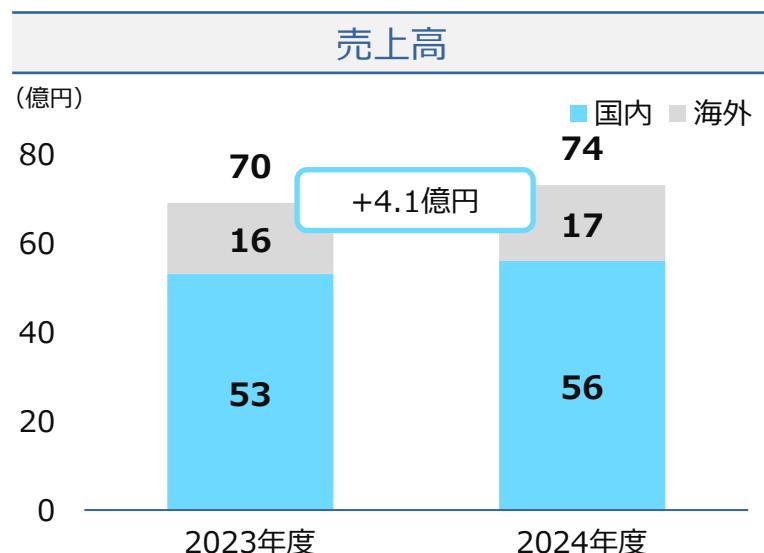


**減収
増益**

**国内：増収・減益
海外：減収・増益**

- リズム翔栄の業績通年貢献
(23年度9月G加入：今期売上高 8億円プラス)
- ベトナム組立事業の受注停滞
- 国内は円安による原材料を含む輸入価格高騰
- 海外は生産拠点での原価低減

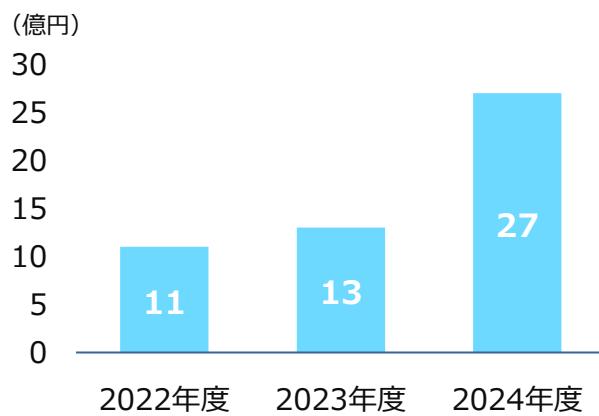




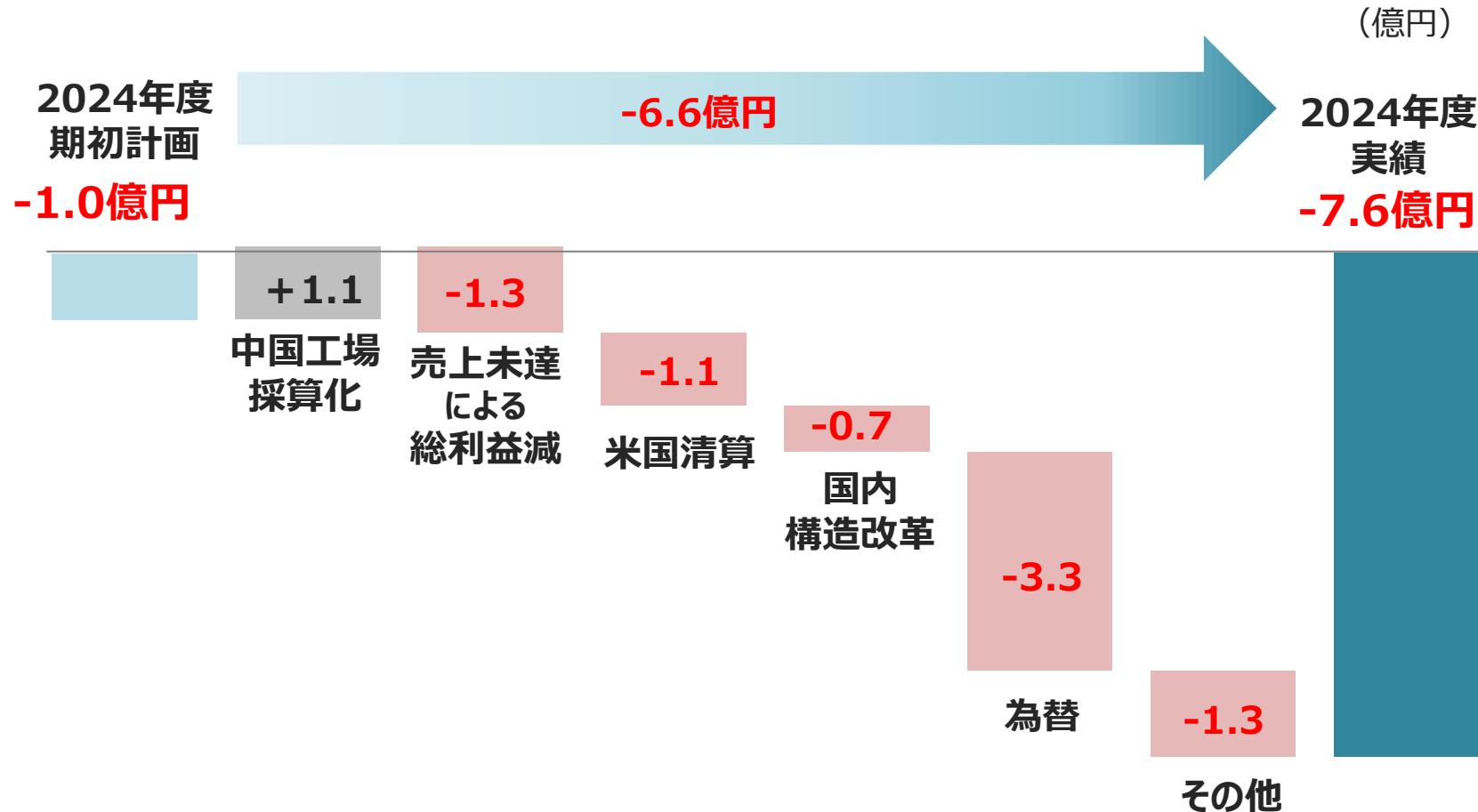
**增收
営業損失拡大**

**国内：增收・営業損失
海外：增收・増益**

- 快適品の売上拡大（ファン、加湿器）
→12期ぶり生活用品事業增收
- 事業構造改革による中国工場利益改善
- 国内は円安による輸入価格高騰



生活用品 営業損失

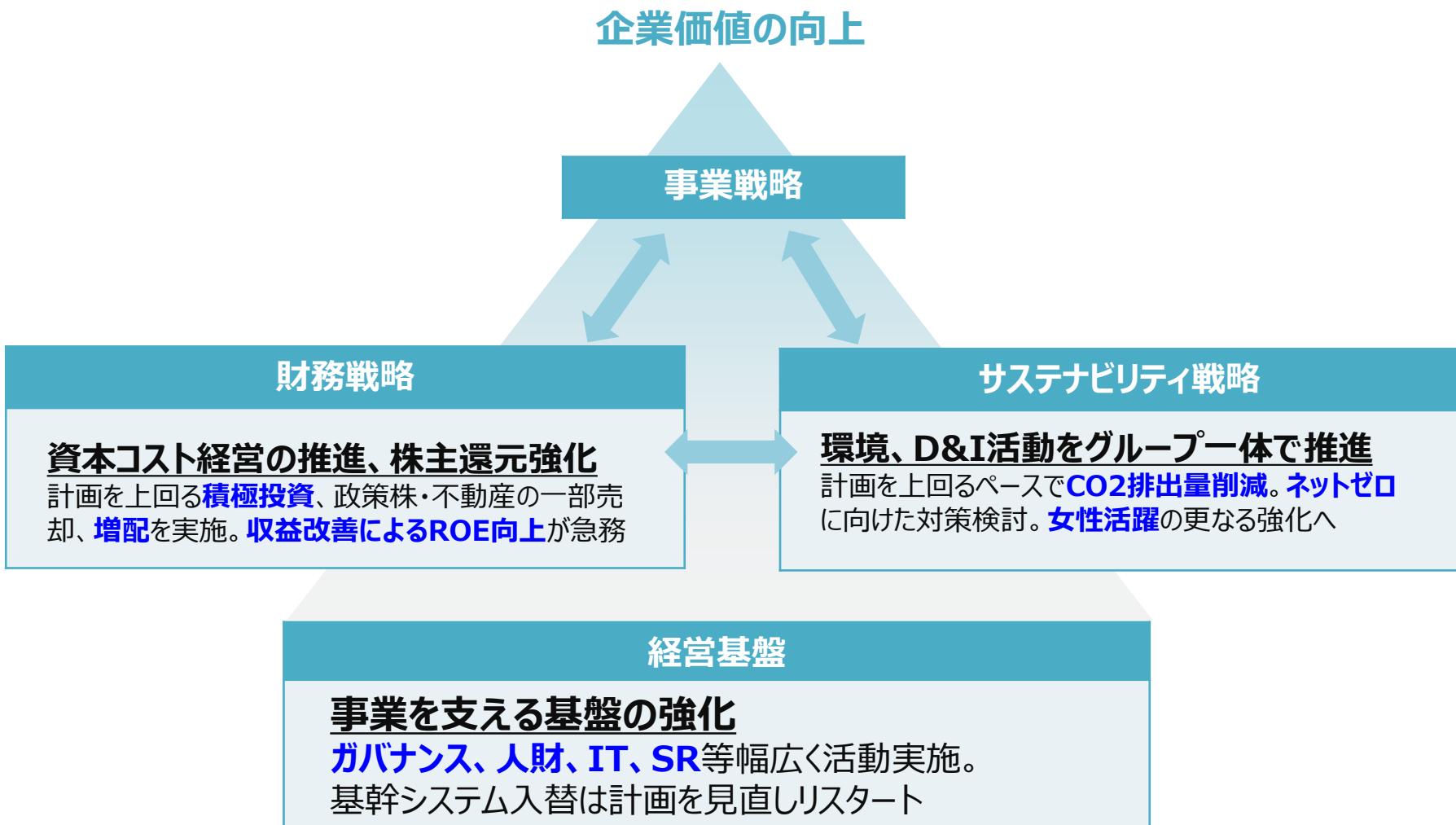


※各種内訳は当社試算額です。

損益計算書（セグメント別）

単位：百万円	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画	2024年度 実績	計画比
売上高	29,999	31,231	32,602	35,500	32,666	-2,833
精密部品	22,133	23,561	25,173	26,300	24,813	-1,486
生活用品	7,422	7,222	7,027	8,800	7,447	-1,352
その他	444	446	401	400	405	5
営業利益	892	886	730	2,000	817	-1,182
精密部品	1,535	1,873	1,812	2,300	2,071	-228
生活用品	-174	-432	-655	200	-764	-964
その他	64	64	68	75	60	-14
調整額	-532	-620	-495	-575	-550	24
経常利益	1,286	1,246	1,259	2,250	1,160	-1,089
当期純利益	1,031	794	477	1,600	758	-841
期中平均為替レート	111.55	134.20	143.31	120.00	152.59	32.59

財務戦略、サステナビリティ戦略、経営基盤強化への取組を推進



	2025年3月末
株価	3,715円
PBR	0.98倍

【課題】

- ✓ 資本コストを上回る「**資本収益性**」の確保
- ✓ 「**成長性**」への適切な市場評価
(適正株価水準の維持)
- ✓ 上場維持基準：不適合

2024年度の取組

■ ROIC経営の推進

- WACCに基づく事業ポートフォリオ評価
→生活用品事業の拠点再編
- 資産最適化
→不動産や政策株の一部売却、在庫適正化への取組

■ 成長分野への積極投資

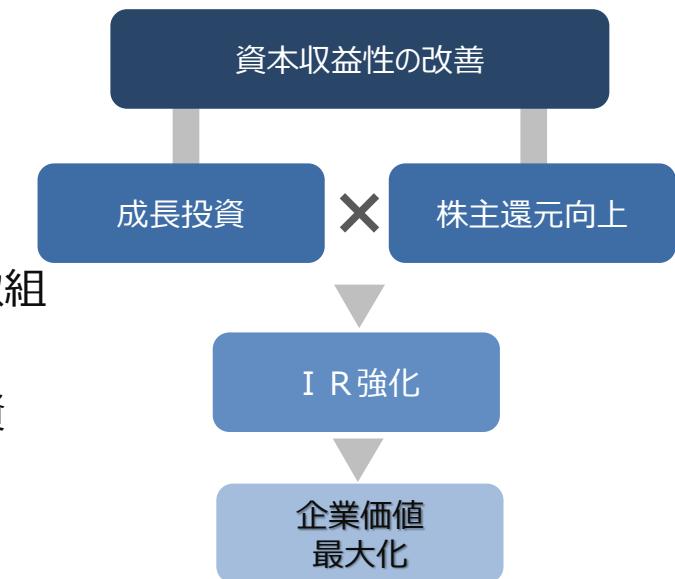
- M&A、設備投資、研究開発投資、人的資本投資

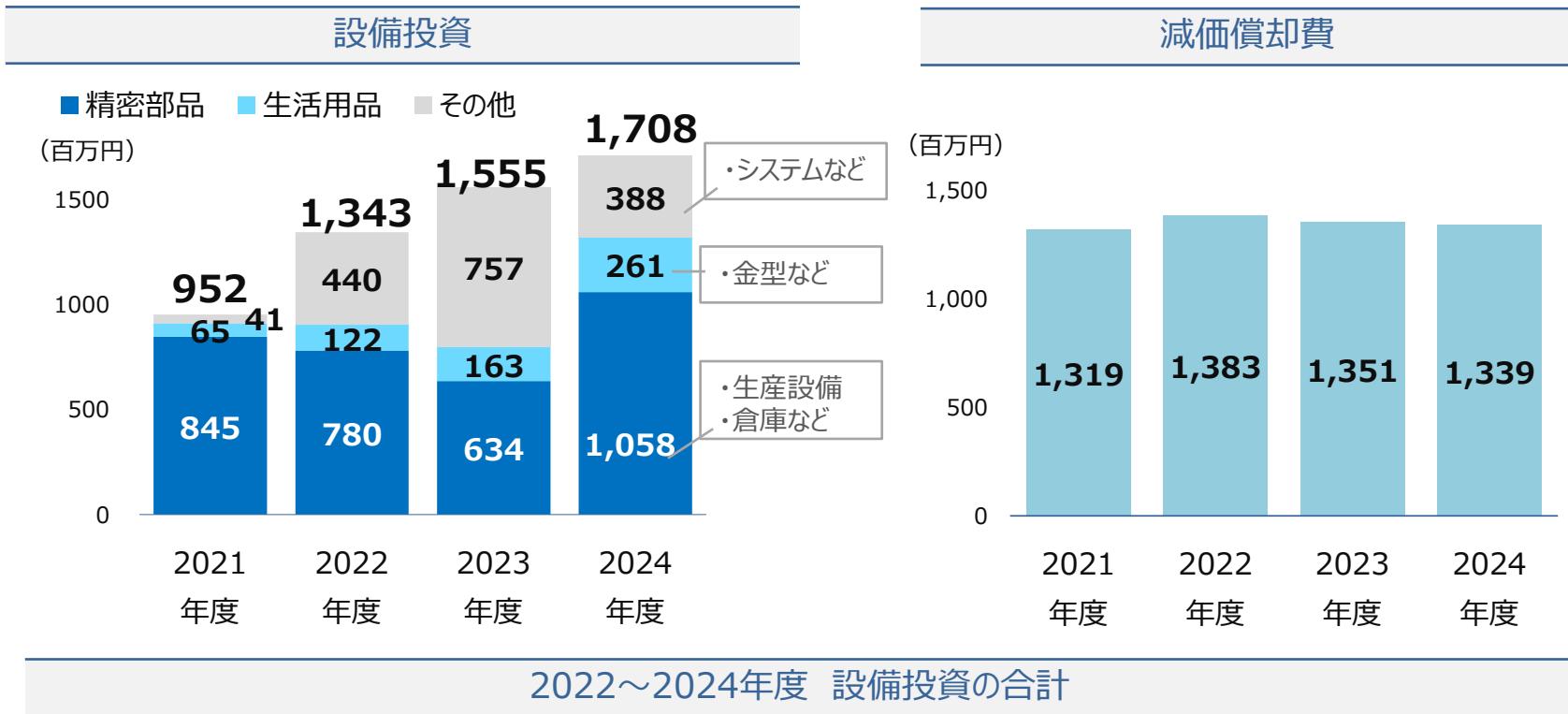
■ 株主還元の向上

- 増配

■ IR活動強化

- IR・SRミーティング強化、英文開示、個人投資家向け説明会





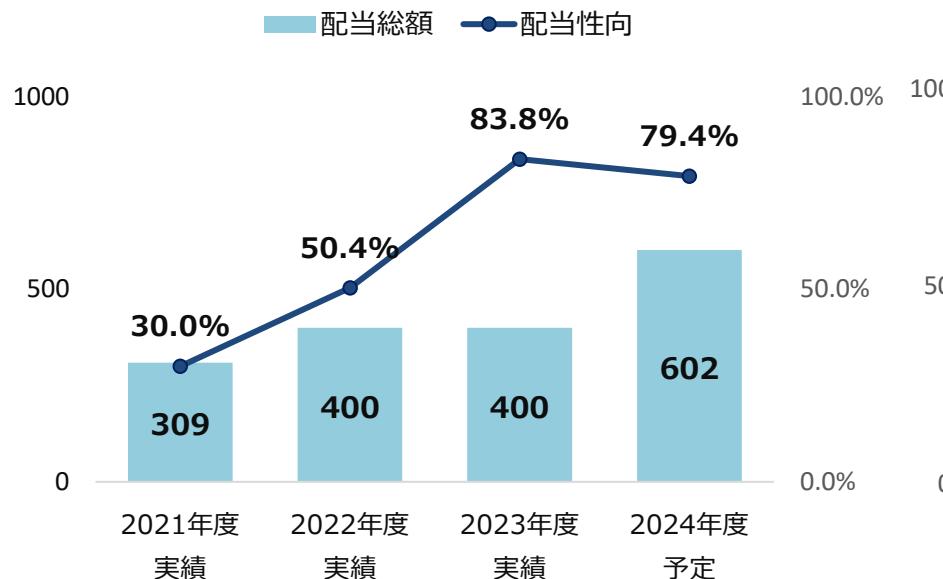
(億円)	精密部品	生活用品	その他	合計
中期計画	26.8	2.3	9.3	38.5
実績	24.7	5.4	15.8	46.0
内訳	プレス機、加工機、成形機、固定資産修繕など	金型 固定資産修繕など	システム・IT投資 物流倉庫	

株主還元の向上

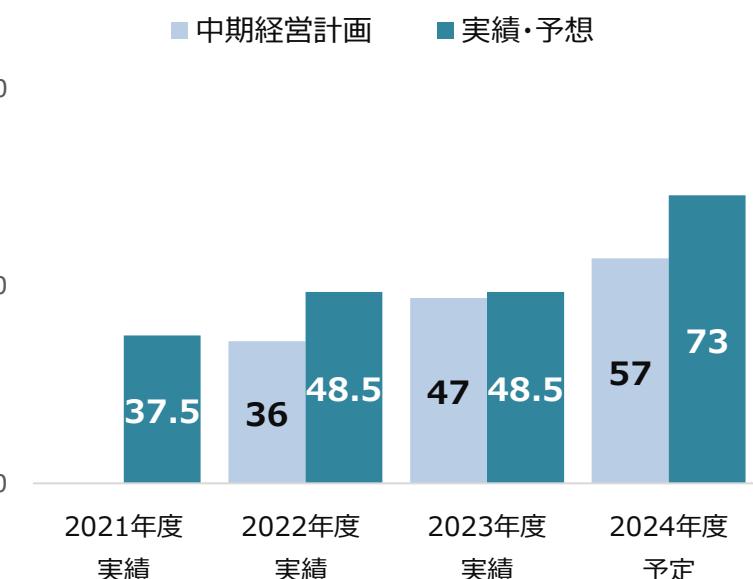
【配当基本方針】

- 配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上
- 安定的な配当を継続

配当総額と配当性向



一株あたり配当金



- 2022年度は増配。
- 2023年度は減益も、配当は据え置き48円50銭。
- 2024年度は73円への増配予定。

2024年度予定：2025年5月14日発表「2024年3月期決算短信」より

中期経営計画2027

(2026年3月期 – 2028年3月期)

【注】

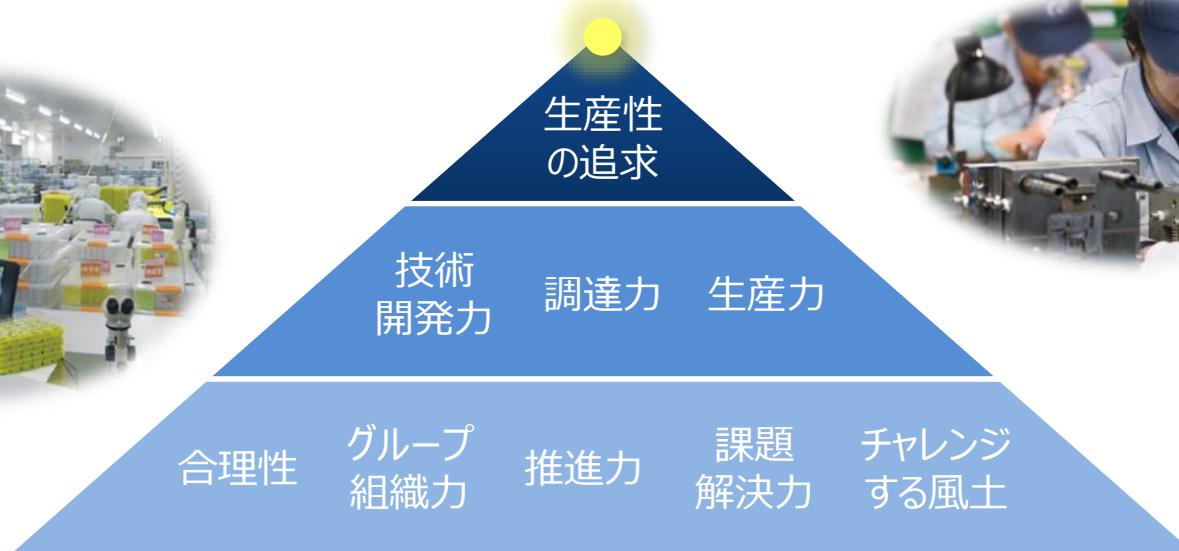
2025年3月24日「中期経営計画策定のお知らせ」において、「2024年度業績予想」として発表した数値については、本資料中では「確定値」に差替えております。

70年以上のクロック製造で培ったものづくりで、安心・安全なくらしに快適なひとときを

経営理念

たゆみない創造と革新を続け、豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する

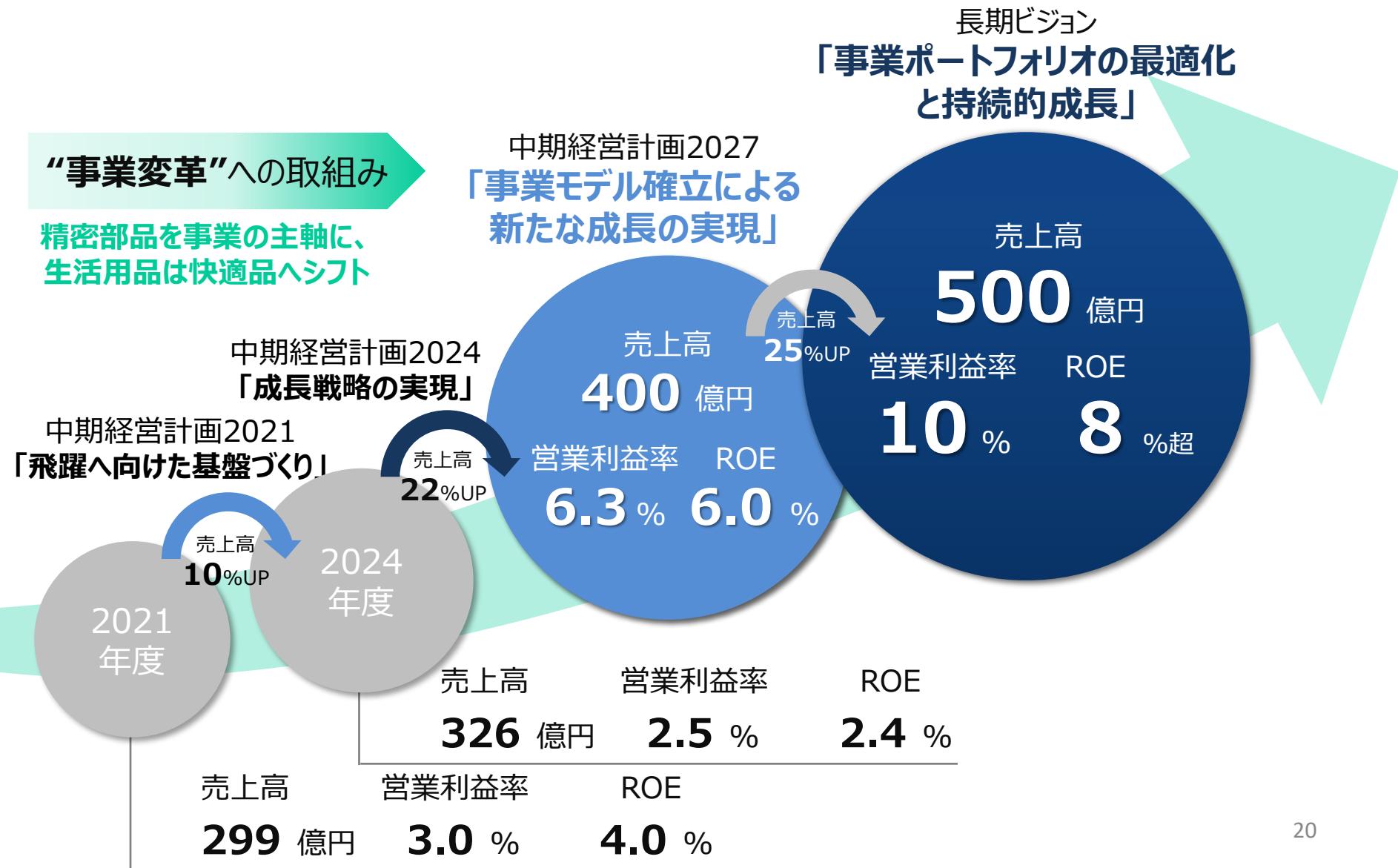
リズムの目指す強いものづくり



ありたい姿

“**高精密部品と快適品のリズム**”として、
世界に向けて「安心・安全・快適」を届けます

中期経営計画2027で売上高+70億円を目指す。売上高500億円を近く実現へ



4つの戦略・基本方針により、高収益体质への転換を図り、資本効率の改善へ



中期経営計画2024の課題（収益性、変化対応力）を克服

全体方針

外部環境変化に負けない**自走的成長**により

高収益体质
への転換



資本効率
の改善

経営目標

2027年度
計画

2027年度
計画

売上高	400 億円	モビリティ 売上高	130 億円
営業利益	25 億円	快適品 売上高	50 億円
営業利益率	6.3%	海外売上 高比率	41%
ROE	6.0%		

4つの戦略・基本方針

新事業モデルの競争力強化

事業 精密部品 引き続き**モビリティを最重要市場**とし、付加価値の高い**リズムオリジナル部品**を拡大

生活用品 **快適品の規模拡大**により、**早期収益化**と事業の**安定収益構造**を確立

成長投資と資本効率の向上

財務 **資本コスト経営**を強化。業績拡大による安定した収益基盤を築き、将来に向けた**積極投資**を実施

経営の推進力向上

経営基盤 **攻守のガバナンスとIT/DX**への取組とともに、高い推進力を持つ**人財育成**により成長を実現

経営・事業活動との同期化

ビサリステニア 企業の**生き残り戦略**として**環境、DEI**を推進

数値目標

単位:百万円	2024年度 実績	2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	2024年度比（%は増加率）	
売上高	32,666	33,500	37,000	40,000	7,333	22.4%
精密部品	24,813	24,700	27,500	30,000	5,186	20.9%
生活用品	7,447	8,300	9,000	9,400	1,952	26.2%
その他	405	500	500	600	194	47.9%
営業利益	817	1,400	2,000	2,500	1,682	205.7%
精密部品	2,071	2,150	2,450	2,850	778	37.6%
生活用品	-764	-250	50	150	914	—
その他	60	90	100	110	49	80.7%
調整額	-550	-590	-600	-610	-59	—
経常利益	1,160	1,700	2,300	2,800	1,639	141.3%
当期純利益	758	1,200	1,700	2,100	1,341	176.7%
為替レート	152.59	140.00	140.00	140.00	-12.59	—

重要財務指標

	2024年度 実績	2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	2024年度比
営業利益率	2.5 %	4.2 %	5.4 %	6.3 %	3.8 pt
ROE	2.4 %	4.0 %	5.0 %	6.0 %	3.6 pt
モビリティ 売上高 ※1	127 億円	105 億円	115 億円	130 億円	—
快適品 売上高	27 億円	37 億円	43 億円	50 億円	22 億円
海外売上高 比率 ※2	43 %	41 %	41 %	41 %	-2 pt
(精密部品)	50 %	48 %	47 %	46 %	-4 pt
(生活用品)	24 %	20 %	26 %	27 %	3 pt

※1 モビリティ売上高は中期経営計画2027より集計方法を変更。

※2 国内売上高伸び率が海外売上高伸び率を上回ることから、2024年度比では低下見込み

中期経営計画2027

事業戦略

精密部品

電動車普及期に向けた種まきとともに、既存部品、新規部品で確実な刈り取り

重点施策 1

既存部品の深化

ソレノイドコイル

- ✓ 金属加工、プラスチック成形、巻き線の技術をフル活用した新規開発
- ✓ 自動車、家電等幅広い市場への売込強化



重点施策 2

新規部品への進化

ユニット部品

- ✓ プラスチック成形 + aのユニット部品の新規開発

組立品

- ✓ 設計～組立まで。プラスチック成形、金型加工に次ぐ事業に育成

電装部品

- ✓ モビリティ新規部品の開発・売込

重点施策 3

生産性向上

自動化・合理化

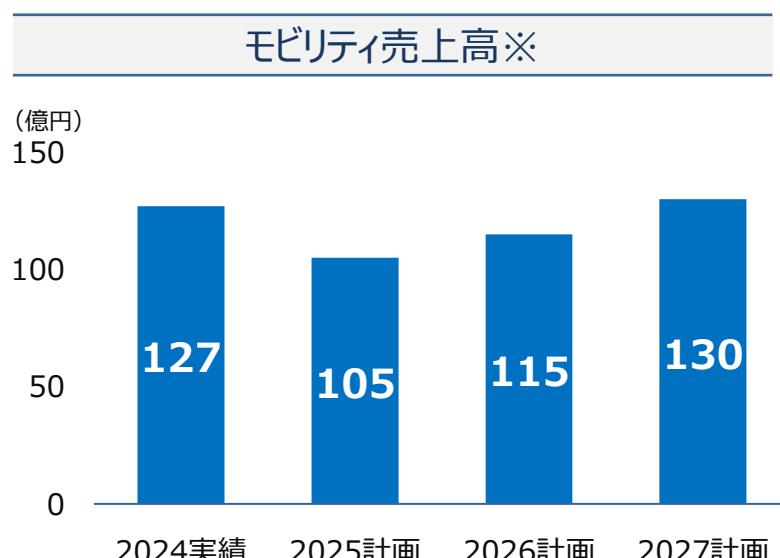
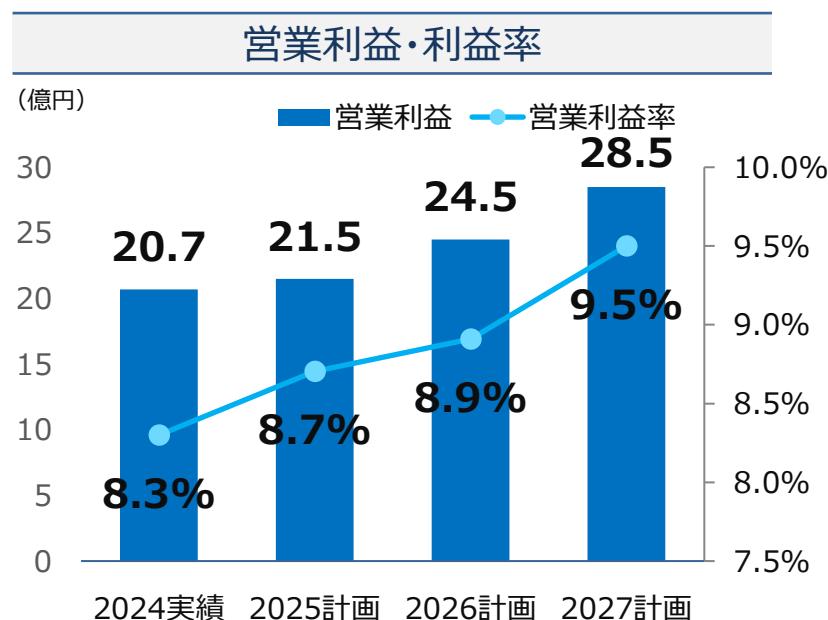
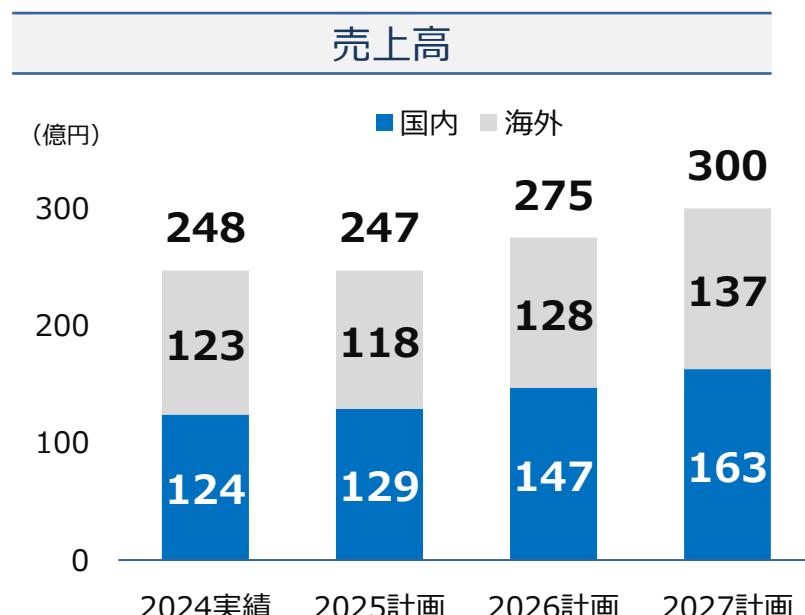
- ✓ 完全無人化等による抜本対策の実施
 - 生産能力の拡大
 - リードタイムの短縮

一人当たり
生産高

2027年度
10%超UP
(2024年度比)

グループ共通方針

- 【製品】**付加価値の高い**リズムオリジナル部品**の開発、汎用化による量の拡大
- 【生産】**一気通貫・一貫生産のものづくりを活かした**ユニット部品の拡大**
- 【営業】**グローバルネットワークを活かした**戦略顧客の深耕**



※ モビリティ売上高は中期経営計画2027より集計方法を変更。

中期経営計画2027

事業戦略

生活用品

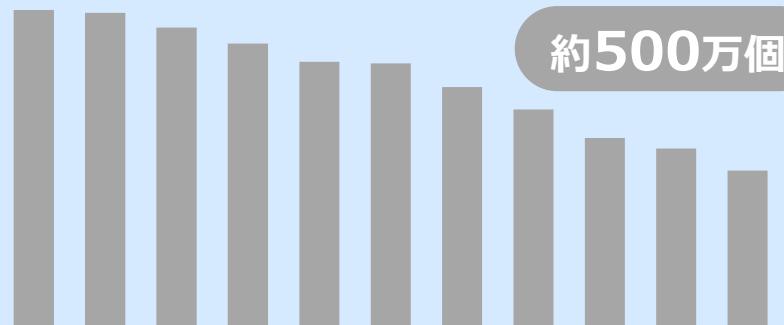
2020年度より大きく事業転換。構造改革の成果を確実なものへ

事業環境

【国内クロック市場】クロック完成品出荷数量

2012年

約1,000万個



※出典：日本時計協会

クロック依存からの脱却

新たな事業モデルの構築

構造改革

クロック
選択と集中

中国工場
再建

快適品
商品開発

子会社
2社清算

中期経営計画2024

中国工場
採算改善

モバイル
ファンヒット

中期経営計画2027

早期収益化
(海外含む快適品拡大と原価低減)

快適品の次なるヒット創出

本中計期間で収益化必達、快適品を製品ポートフォリオの中核とし売上拡大へ

重点施策 1

快適品の販路拡大

大手EC・家電量販店 海外重点5か国

- ✓ チャネル別販売戦略の推進
- ✓ モバイルファンをフックに中国・東南アジアでの市場開拓
- ✓ SNSマーケティングによる売上拡大とブランド認知獲得

重点施策 2

快適品の次なるヒット

新製品

- ✓ 空調分野のラインアップ拡大と新分野への研究開発
- ✓ 高付加価値、ロングライフ、通年商材、海外展開重視の製品開発

重点施策 3

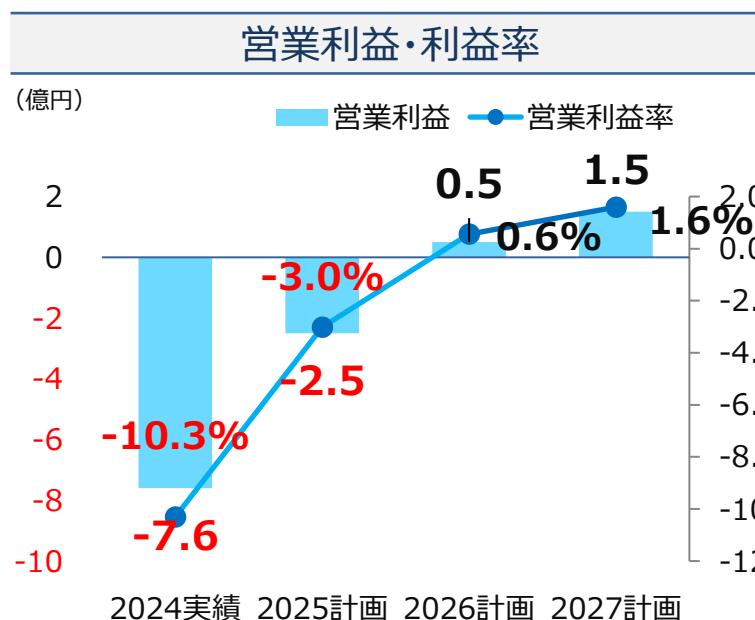
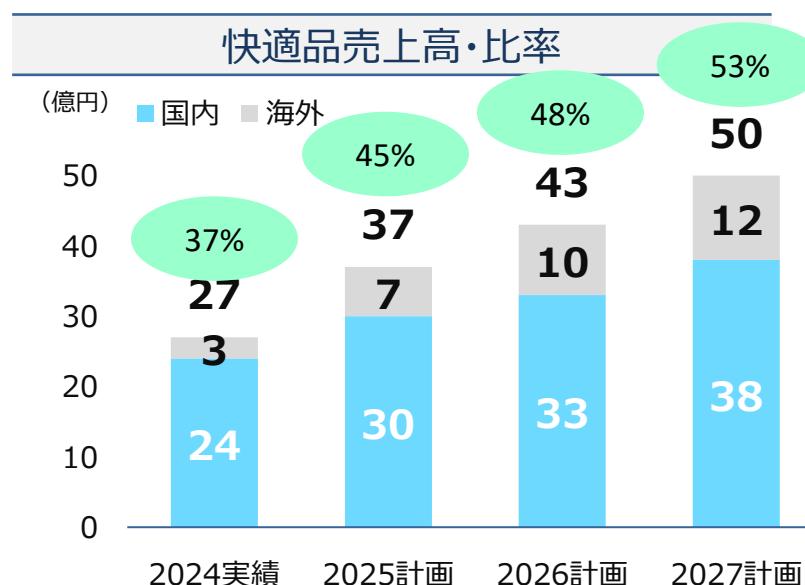
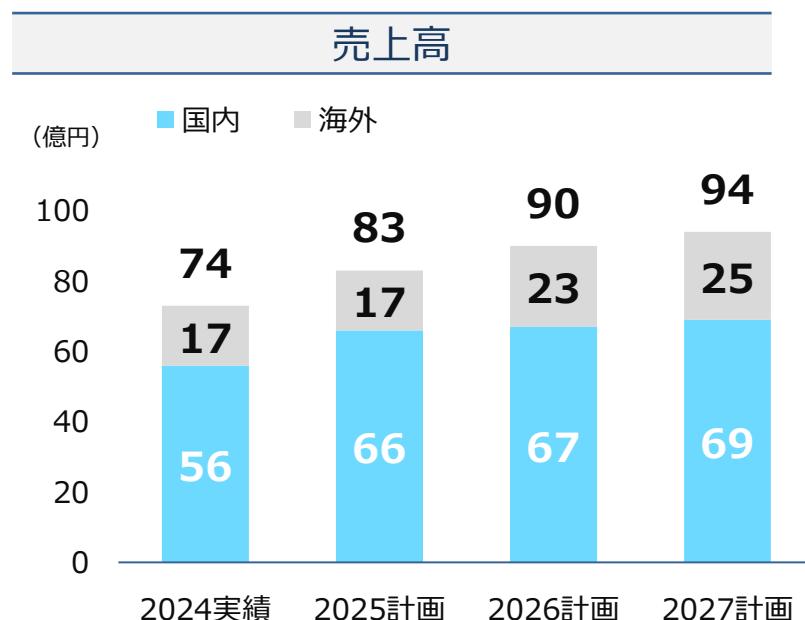
生産体制の強化

原価低減

- ✓ 販売機会損失ゼロへの取組み
- ✓ 購買力強化、集中生産・組立自動化による生産性向上
- ✓ クロックのさらなる絞り込みによる最大効率化

グループ共通方針

早期の売上高100億円事業化へ、**国内外での快適品の売上拡大**
事業のスケール化に寄与する戦略の実行スピードと確度の両立



快適品コンセプト

生活の中の本質的な価値を見極め、
問題解決、新たな使い方、高品位デザインで
「良い時間を過ごす」くつろぎの商品を提供する

中期経営計画2027
財務戦略

引き続き、ROIC経営フレームワークに基づいた資本コスト経営を推進

体制

取締役会・経営会議

事業ポートフォリオ報告（年2回）

- ・ 基本方針についての議論
 - ・ 事業ポートフォリオ評価
 - ・ M&Aについての議論 など
- ※M&Aについては別途定例報告

ROIC経営フレームワーク

事業ポートフォリオ評価

資本コストを踏まえた 投資判断

(当社試算) WACC 約6%
株主資本コスト 約7%

資産の最適化

不動産の売却
政策株の売却
在庫適正化への取組

事業ポートフォリオ実務者協議会

担当役員・現場幹部による

- ・ 重点改善指標の設定
- ・ 具体的施策の進捗・効果の確認

ROE改善の道筋

2024年度
2.4%

2027年度
6.0%

長期ビジョン
8%超

利益の最大化
に向けた積極投資

株主資本マネジメント
最適資本構成の実現

安定した収益基盤を築き、最適バランスによる資源配分で企業価値向上へ

企業価値の向上

成長投資

- 設備投資
- 研究開発投資
- 人的資本投資
- M&A

株主還元

- 配当性向30%以上、
一株当たり配当金30円以上
- 安定配当の継続



35ページ記載



36ページ記載

継続的なキャッシュフローの創出

資本コスト経営の推進強化

業績拡大による安定した収益基盤の構築

収益改善や一部資産売却によるキャッシュをもとに、積極的な成長投資を計画

キャッシュイン

120～130億円

- 収益拡大
- 資産効率の向上
(在庫水準の適正化)

営業CF
60～70億円

- 手元資金の有効活用
- 不動産や政策株など
一部資産の売却
- 負債の活用

手元資金
資産売却
借入金
60億円

キャッシュアウト

120～130億円事業投資
50～60億円M&A
50億円株主還元
20億円

精密部品

- 設備増強
- 自動化・省人化設備
- 生活用品
- 快適品開発
- その他
- システム刷新
- 倉庫建設
- 環境対応
- 人的資本

精密部品

- 一定規模を有する
製造会社
- 生活用品
- 快適品の技術・ノウハウ・人財を有する企業

収益改善と更なるキャッシュの創出により、成長投資と併せて株主還元の向上を図る

配当
基本方針

- 配当性向 30%以上、一株当たり配当金30円以上
- 安定的な配当を継続

	2024年度 予定	2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画
売上高 (百万円)	32,666	33,500	37,000	40,000
当期利益 (百万円)	758	1,200	1,700	2,100
一株当たり当期利益 (円)	91.93	145.38	205.96	254.42
一株当たり配当金／年 (円)	73	73	73	76
配当性向 (%)	79	50	35	30

※ 計画値は、中期経営計画2027に基づく試算であり、
記載の配当を約束するものではありません

株主還元 **20億円**

業績、手元資金、投資の状況に応じて**更なる配当検討**

中期経営計画2027
経営基盤戦略

経営戦略を推進する原動力となる人財の確保・育成・適正配置

経営戦略と
人財戦略の**連動**

リズムの発展と
従業員成長の**好循環**

方針	多様な人財が 高い生産性と創造性 により 経営戦略を推進 できる組織作り
求められる人財	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高い視座を持つ経営幹部 ■ マネジメント能力の高い管理職・リーダー職 ■ 専門人財（技術、海外） ■ 自律的で、変革にチャレンジできる人財 ■ デジタルネイティブ人財

経営
コミット
メント

- 経営層・従業員への**人的資本投資**
- サステナビリティ委員会による**DEI**活動の推進

人財
パイプ
ライン

- 人財の**適正配置・活躍機会**の提供
- **階層別、テーマ別教育**の実施
- リテンション施策の実施
- **人事制度**の再構築
- エンゲージメントサーベイの活用

人財育成の体系化
現場での実務能力向上へ

IT/DXで圧倒的なスピードを獲得し、ありたい姿の実現へ



長期方針

グループを俯瞰するIT戦略の推進

- 中期経営計画2027にて現状分析・施策立案・遂行スタート

IT/DXの推進

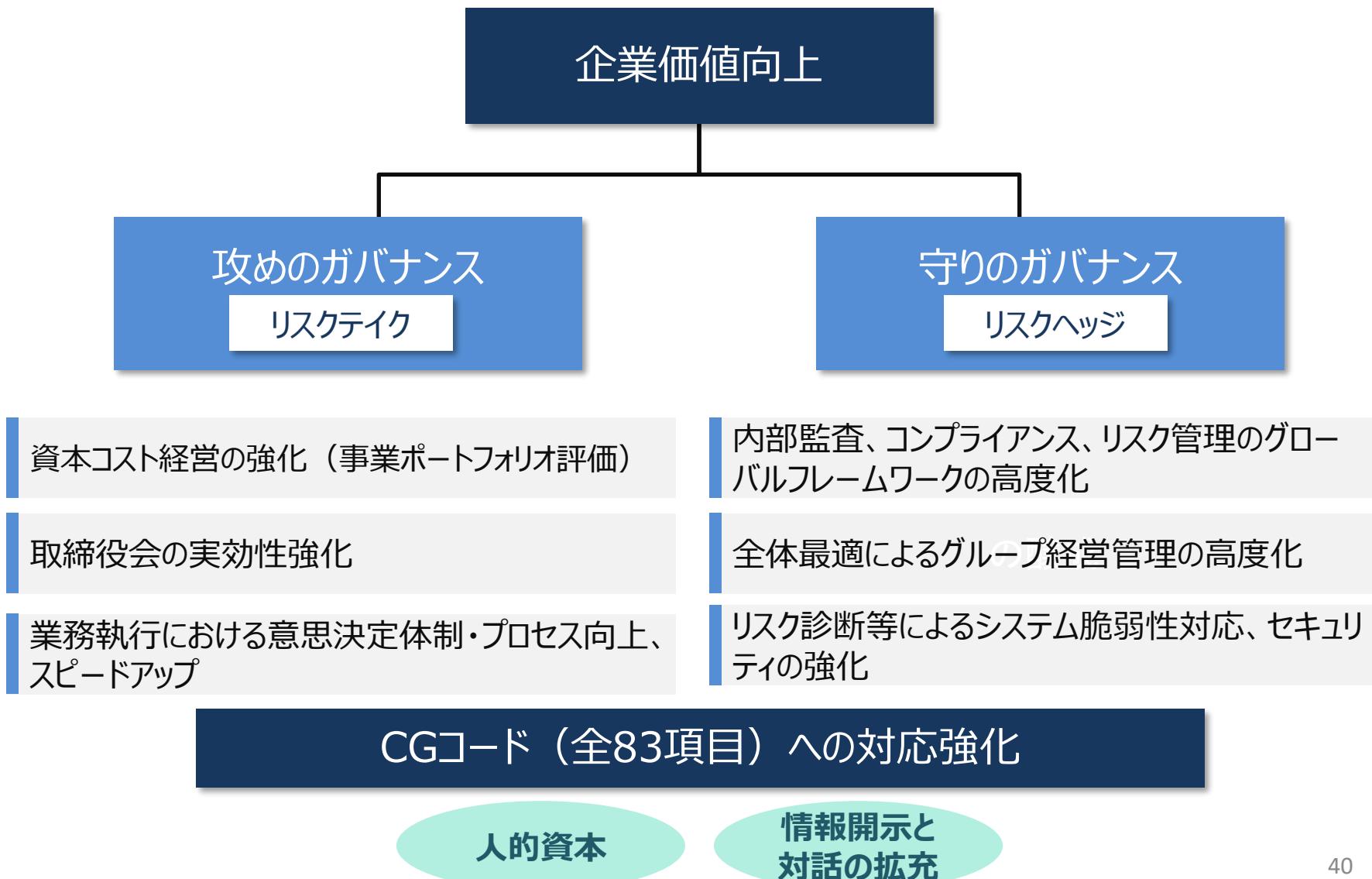
- IT/DX推進専門部隊による最新技術と現場需要のマッチング

中期経営計画2027の重要施策

基幹システムの刷新

- 業務統合による標準化、効率化、統制強化

適切なリスクヘッジと果敢なリスクテイクにより成長を実現



中期経営計画2027
サステナビリティ戦略

経営・事業活動と同期させ、サステナビリティ経営を推進



フレームワーク構築 と活動定着	経営との同期化 と効果向上	ありたい姿
<ul style="list-style-type: none">● グループ推進体制の構築● 理念体系の整備● 現状把握と施策の実施● モニタリングの実施（PDCAサイクル化）	<ul style="list-style-type: none">● 生き残り戦略として事業活動との活動の紐づけ● 各種活動の自律化● モニタリング効果の拡大	<ul style="list-style-type: none">● リズム独自の製品・サービスにより、社会にとって不可欠な構成員となる● あらゆるステークホルダーの持続的活動に参画し、ともにあゆみを進める



当初計画から前倒し、2027年度に原単位※1当たりCO2排出量30%削減へ

CO2排出量/原単位
1.112t

CO2排出量/原単位
0.880t
(見通)

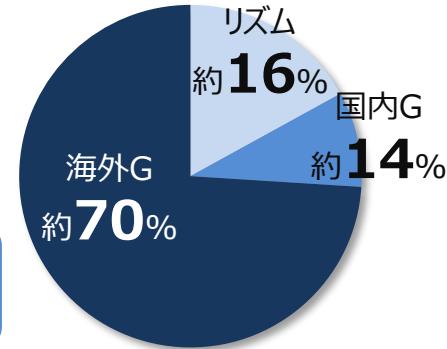
改善活動から
抜本対策
を要するステージへ



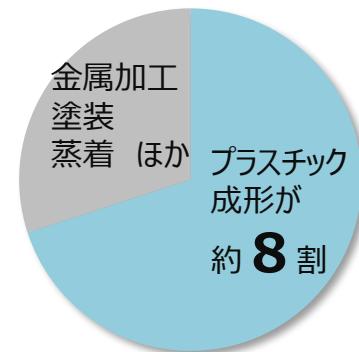
具体的な取組

- CO2排出量実質ゼロに向けた**抜本対策**の検討
国内外パイロット拠点での施策導入と横展開
- リスク対策と事業機会創出 (**TCFD活用**)
- サプライチェーンへの働きかけ

個社別のCO2排出量イメージ



工程別CO2排出量イメージ



原単位当たりCO2排出量削減目標※2

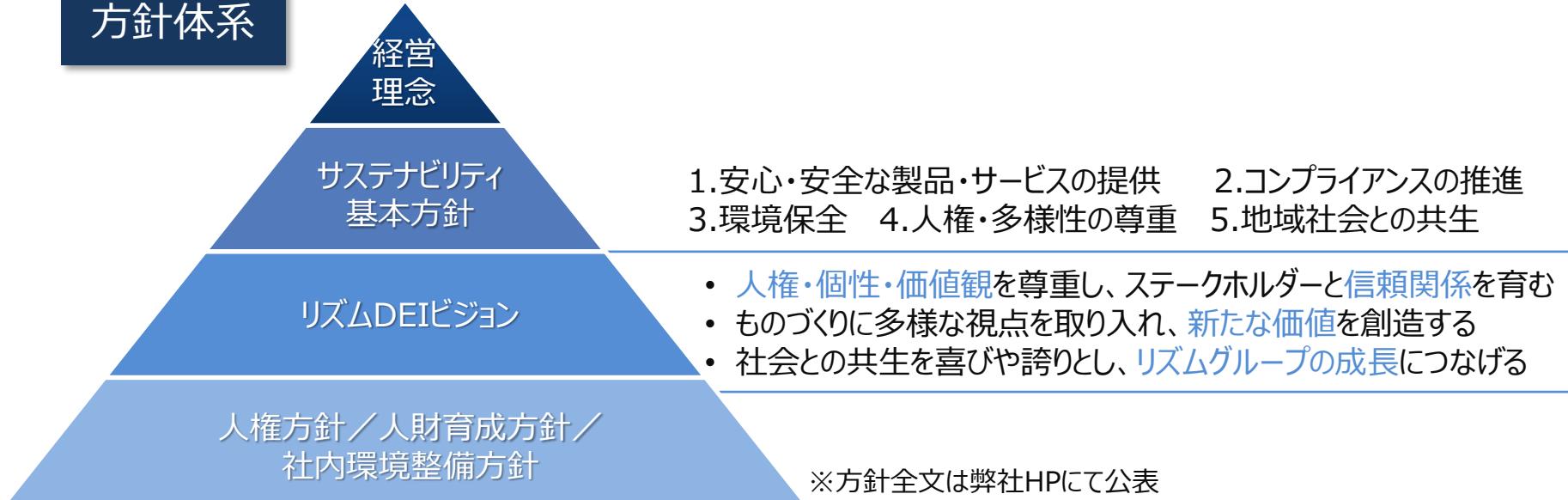
2024年度 (見通)	2027年度	2050年度
20%減	30%減	実質ゼロ

※1 売上高百万円あたりのCO2排出量

※2 2018年度比、原単位での削減目標

D&IからDEIへ。人権尊重を基盤に、女性、障がい者等多様な人財の活躍を実現

方針体系



具体的取組

- 人権への取組（人権DDの運用強化）**
- 女性活躍への取組**
多様な働き方制度、キャリアアップ支援、女性自身・会社全体の意識改革
- 障がい者の採用・育成支援・定着への取組**
- 健康経営の推進**

女性管理職比率目標

2024年度 2027年度

22.3% **30%**

(G全体) (G全体)

7.9% **10%**

(国内G) (国内G)

32.8% **40%**

(海外G) (海外G)

長期ビジョン
40%超
(G全体)

TOPICS

精密部品事業

大電流に適応するプリント基板表面実装用バスバーを発売



大電流対応ニーズが高まる分野（例）

データセンター用
サーバー電源

電動車



従来の大電流対応での課題

- 基板パターンの面積を拡大 → 小型化が困難
- 基板を多層化 → 製造工程複雑化
コスト増
放熱性が低下

新製品のメリット

基板実装用
バスバー

省スペース

放熱強化

軽量化

製作が容易

ソルダーレジスト
(絶縁膜)
基板

<実装イメージ>

生活用品事業

快適品ラインナップを拡大中

NEW

Silky Wind 3.2



NEW

日傘クリップ



NEW

CARABINERCASE



発売中

Silky Wind Circulator／Mini



発売中

MIST350



発売中

MAGSPEAKER DUO



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における見通、計画等将来に関する記述につきましては、当該時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

広報IR担当窓口

リズム株式会社
経営企画部 相澤
森

電話 048-643-7241 (経営企画部直通)